



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省  
秋田労働局

## Press Release

平成 28 年 10 月 14 日(金)

【照会先】

秋田労働局職業安定部職業安定課  
課長 松橋 貞一郎  
職業安定監察官 大野 司  
(電話)018(883)0007 (内線 102)

報道関係者 各位

### ハローワークの総合評価に関する業務の進捗状況について

#### － 主要指標に係る実績の中間報告（第 1 三半期） －

秋田労働局(局長 松本安彦)では、平成 27 年度より、①PDCA サイクルによる目標管理・業務改善、②総合評価の実施・公表による自発的業務改善・利用者の信頼性向上、③全国的な業務改善に向けた取組の強化によるハローワークのマッチング機能の強化を図るため、マッチング業務の総合評価の取組を行っています。

今般、中間報告として、平成 28 年度の第 1 三半期(4 月～7 月の実績)の主要指標(就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数)に係る実績を取りまとめましたので、今後の取組方針と併せて公表いたします。

秋田労働局及び各ハローワークでは、この第 1 三半期の実績を踏まえ、今後とも、目標件数の達成に向けて取組の強化を図るほか、継続的な業務の改善に取り組み、ハローワークに対する信頼感の向上に努めてまいります。

#### 【添付資料】

1. 平成 28 年度マッチング機能に関する業務進捗状況と今後の取組方針（別紙 1）
2. ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組について（別紙 2）

#### 【参考】

平成 26 年 6 月 24 日に「日本再興戦略」改訂 2014～未来への挑戦～」が閣議決定され、外部労働市場の活性化による失業なき労働移動の実現に向け、官民協働による外部市場の求人・求職マッチング機能の強化を図ることとなったことから、平成 27 年度よりハローワークの機能強化のため、上記アンダーラインの①、②、③の取組を行っております。

この中で、②の総合評価に関連して、平成 27 年 4 月内容から主要指標 3 項目（別紙 1 参照）の進捗状況について毎月公表しておりますが、今回、平成 28 年度第 1 三半期実績等に関しての中間報告をするものです。

# 平成28年度マッチング機能に関する業務進捗状況と今後の取組方針

別紙1

秋田労働局

第1三半期(4~7月)※9月に全国数値判明

	区分	目標 (件)	実績 (件)	進捗 率%	業務進捗状況の分析	今後の取組方針
就職件数 (※1)	秋田	8,757	3,076	35.1	第1三半期においては、 ・求職者担当者制による相談 ・個々の求職者の希望条件に 沿った求人情報の提供 ・正社員求人提出依頼 ・定期的な就職面接会の開催 を重点的に取り組んだが、実績は <b>7,988件(進捗率32.8%)</b> と年間目 標達成に向けた今期の目安値 <b>38.1%を5.3P下回っている。</b> これは、上記取組が一定の成果 をあげている一方で、新規求職者 が <b>前年度比11.1%減</b> と26年度⇒ 27年度比 <b>8.1%減</b> よりも、更に減 少幅が大きくなったことが要因と みている。	引き続き、 <b>第1三半期の取組を                      継続</b> するとともに、新規求職者の 減少に対応するため、職業相談 や紹介の件数を増やすことで就 職者数の増加を図るほか、求職 者の希望に沿った支援を強化す るため、 ・予約制による職業相談の実施 ・日常的な来所者への窓口誘導 と各種サービスメニューの提案 ・商業施設等の集客力のある施 設への求人情報の配置による潜 在的な求職者へのハローワーク 利用のアピール等 を積極的に行うことにより就職者 の増加を目指す。
	能代	2,012	661	32.9		
	大館	2,926	1,036	35.4		
	大曲	3,304	939	28.4		
	本荘	2,171	719	33.1		
	横手	2,580	767	29.7		
	湯沢	1,493	476	31.9		
	鹿角	1,108	314	28.3		
	局	24,351	7,988	32.8		
	第1三半期 目標値	9,276	-	38.1		
求人充足件数 (※2)	秋田	9,089	3,211	35.3	第1三半期においては、 ・求人(事業所)担当者制の実施 ・求職者の希望に沿った求人条件 の緩和の提案 ・正社員求人提出依頼 ・定期的な求人者による求人内容 説明会の実施 を重点的に取り組んだが、実績は <b>7,681件(進捗率33.2%)</b> と年間目 標達成に向けた今期の目安値 <b>37.8%を4.6P下回っている。</b> これは、上記取組が一定の成果 をあげている一方で、就職件数と 同様に、 <b>新規求職者の減少と職                      種別の求人・求職のミスマッチ</b> が みられることが大きな要因とみて いる。	引き続き、 <b>第1三半期の取組を                      継続</b> するとともに、窓口や事業所 訪問による職場環境の改善提案 とそれに伴う求人条件の緩和によ る波及効果を上げるため、 ・求人者への <b>雇用管理・職場環境                      改善</b> と併せた <b>求人条件緩和の提                      案</b> ・求人条件の緩和後の求職者へ の <b>求人情報の提供</b> ・求人者からの <b>リクエストがあった                      求職者への情報提供</b> と職業紹介 ・求職者の <b>職業能力開発のため                      の職業訓練の提案</b> 等 を積極的に行うことにより充足件 数の増加を目指す。
	能代	1,817	621	34.2		
	大館	2,818	978	34.7		
	大曲	3,001	849	28.3		
	本荘	1,828	614	33.6		
	横手	2,492	757	30.4		
	湯沢	1,168	397	34.0		
	鹿角	894	254	28.4		
	局	23,107	7,681	33.2		
	第1三半期 目標値	8,724	-	37.8		
雇用保険受給者の早期再就職件数 (※3)	秋田	1,979	530	26.8	平成28年4月~6月(3ヶ月間) においては、 ・求職者担当者制による相談 ・個々の求職者の希望条件に 沿った求人情報の提供 ・再就職へのノウハウや意識を身 に付けるための「就職支援セミ ナー」の実施 を重点的に取り組んだ結果、実績 は <b>1,483件(進捗率28.6%)</b> と年間 目標達成に向けた今期の目安値 <b>28.6%と同じであった。</b> これは、上記取組により、 <b>早期                      再就職の意識が高まったこと</b> によ り一定の成果をあげたものとみて いる。	引き続き、 <b>第1三半期の取組を                      継続</b> するとともに、雇用保険失業 認定日における積極的な職業紹 介による就職者数の増加を図る ため、 ・ <b>求人情報の事前提供</b> と <b>雇用保                      険失業認定日</b> を利用した職業相 談・職業紹介の実施 ・ <b>雇用保険受給説明会</b> での <b>早期                      再就職に向けたセミナーの充実</b> 等を 積極的に行うことにより <b>早期再                      就職者数の増加</b> を目指す。
	能代	449	147	32.7		
	大館	579	158	27.3		
	大曲	701	204	29.1		
	本荘	432	132	30.6		
	横手	456	117	25.7		
	湯沢	391	130	33.2		
	鹿角	203	65	32.0		
	局	5,190	1,483	28.6		
	4~6月(3カ 月)目標値	1,483	-	28.6		

※1. ハローワークの職業紹介により常用(雇用期間の定めのないもの又は4か月以上)就職した件数

※2. ハローワークの常用(雇用期間の定めのないもの又は4か月以上)求人(受理地ベース)の充足件数

※3. 雇用保険の基本手当の支給残日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職した件数【この数値のみ1か月遅れで集計】

労働市場全体のマッチング機能の強化を図るため、国、地方自治体及び民間の需給調整機関が、それぞれの役割・機能に応じた連携を強化していくとともに、雇用対策の基軸となるハローワークのマッチング機能の強化を目指す。

このため、ハローワークでは「①PDCAサイクルによる目標設定(主要指標+補助指標+重点指標+重点項目)、②総合評価の実施・公表、③評価結果に基づく業務改善の展開」を実施する。

## ①PDCAサイクルによる目標設定

### (1)主要指標

中核業務の成果を測定する指標

- ①就職件数
- ②充足件数
- ③雇用保険受給者の早期再就職件数

追加

- (2)業務の質の指標(補助指標)
- (3)地域の実情を踏まえた重点業務に関する指標(重点指標) ※1ハローワークごとに項目を選択
- (4)中長期的な就職支援を強化するため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組(重点項目) ※2実施した内容分のみを評価

## ②ハローワークのマッチング機能の総合評価の実施と公表

○以下の各指標の実績や各種取組の実施状況について、それぞれポイント化するとともに、総ポイント数を計算し、労働市場の状況や規模等が類似するハローワークをグループ化し、総ポイントを比較し、評価する。(=総合評価)

- (1)主要指標(就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数)
- (2)補助指標(紹介成功率、満足度調査結果、求職紹介率、求人紹介率)
- (3)重点指標(生活保護受給者等の就職件数、障害者の就職件数、正社員就職数など) ※1
- (4)重点項目(職員のキャリアコンサルティング研修の受講、好事例の導入など) ※2

積極的に利用者へ公表

・年度目標の設定公表(5月)

・主要指標の目標達成状況等を定期的に公表(毎月・中間報告9~10月)

・安定所毎の実績と総合評価、業務改善の取組を公表(6月)

・ハローワークごとの総合評価結果の公表(6月)

## ③評価結果等に基づく全国的な業務改善の展開

好事例の全国展開など